

マイクロ波・ミリ波技術とフォトニクス技術との融合領域であるマイクロ波・ミリ波フォトニクス（MWP）は、その基本概念の提唱から約 30 年、第 1 回 MWP 国際会議が開催されてから 20 年を経て、更なる進化を遂げています。黎明期に注目を集めていた光ファイバ無線（Radio over Fiber）は移動体通信・公共放送等への導入が進み、また、光マイクロ波発振器や光デバイスによるミリ波・テラヘルツ波制御、光 AD-DA 変換等の技術の進展には目覚ましいものがあります。更に、スマートフォン・タブレット端末の爆発的な普及を受けて、マイクロ波・ミリ波無線通信と光ファイバ通信との有機的な融合が一層進み、従来の概念を越えた新たな MWP 技術分野が形成されつつあります。本小特集（平成 27 年 8 月号）では、平成 26 年 10 月に開催される 2014 International Topical Meeting on Microwave Photonics/the 9th Asia-Pacific Microwave Photonics Conference（MWP/APMP2014）で発表された論文を中心として、これらのほかにも広く本分野の最新技術の論文を募集するものです。奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波フォトニクスに関する以下の分野を対象とします。

- ・マイクロ波・ミリ波帯光デバイス、コンポーネント技術
広帯域線形・高出力光デバイス／光デバイスによるマイクロ波・ミリ波・テラヘルツ波の発生と制御／光スペクトル合成技術／MWP デバイス集積技術／光マイクロ波のための MEMS 技術／光波及び電磁波バンドギャップ構造と応用技術／高速光 AD-DA 変換／光によるマイクロ波・ミリ波計測技術／光プロービング・センシング／光周波数計測・制御／その他
- ・マイクロ波・ミリ波フォトニクスシステム、アプリケーション
光ファイバを用いたマイクロ波・ミリ波の伝送システム及びネットワーク／マイクロ波フォトニクス技術を応用した MIMO 技術／光技術を用いた超広帯域無線システム／光制御フェーズドアレーアンテナ／新しい変調方式による光伝送システム／THz のアプリケーションやシステム／シリコンフォトニクスシステム／マイクロ波・ミリ波技術の安全・安心・高エネルギー効率システムのアプリケーション／モバイル・バックホールとしての光アクセスネットワーク／その他

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、ブリーフペーパーの場合は刷り上がり 3 ページを標準とします。初期投稿時のブリーフペーパーの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

論文及び著作権譲渡関係の書類の提出は Web による電子投稿で受け付けます。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体（TeX/Word）、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-MP] Microwave Photonics を選択して下さい。[Regular-EC] を決して選択しないで下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 26 年 12 月 20 日（土）

5. 問合せ先

戸田裕之 同志社大学理工学部電子工学科
〒610-0321 京田辺市多々羅都谷 1-3
TEL [0774] 65-6356, FAX [0774] 65-6801, E-mail : htoda@mail.doshisha.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 村田博司（阪大）
幹事 戸田裕之（同志社大）、池田研介（電力中央研）
委員 安藤俊行（三菱電機）、伊藤 弘（北里大）、熊本和夫（阪工大）、黒川 悟（AIST）、小西 毅（阪大）、関根徳彦（NICT）、久武信太郎（阪大）、枚田明彦（NTT）、吉本直人（千歳科学技術大）、米本成人（電子航法研究所）、河合 正（兵庫県立大）

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての採録論文については掲載料（別刷 50 部含む）をお支払い頂きます。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>